

～さらなるグローバル化へ向けチャレンジ～

『ADDICTION』ブランド誕生 11 年目 新クリエイティブディレクターに KANAKO を起用

株式会社コーセー(本社:東京都中央区、代表取締役社長:小林 一俊)は、メイクアップアーティストブランド『ADDICTION』の新たなクリエイティブディレクターとして、ニューヨークをベースに世界で活躍するKANAKOを起用します。ブランド誕生11年目を迎え、広く世界に向け展開する当社の“重点グローバルブランド”の1つとして、今後欧米をはじめとするさらなるグローバル展開を加速していきます。KANAKOの監修する商品および広告は、2020年1月より当ブランド取り扱いの全国の百貨店と化粧品専門店および公式オンラインショップで順次発売・公開を予定しています。



2009年にデビューした『ADDICTION』は、“国籍、年齢を問わず自分らしいスタイルを手に入れる”ことを狙いとし、これまでになかった質感や色で洗練されたメイクアップを体現してきました。ブランドを代表する「ザアイシャドウ」をはじめ、メイクアップアーティストブランドならではのグローバルなアイテム展開で、お客さま一人ひとりの個性を活かしたメイクアップを提案し続けています。

今回、ニューヨークをベースに世界的に活躍するKANAKOを新たにクリエイティブディレクターに起用することで、彼女のグローバルな経験や感性と、当社の開発力と技術力を融合し、さらなるブランド強化を図ります。ブランド誕生11年目を迎え、国内外のサービスの拡充と共に、さらなるグローバル展開へ向けた新たなチャレンジを進めます。

また同時に、グローバル展開強化へ向け、2020年1月以降に発売する商品には「ADDICTION TOKYO^{※1}」のロゴを冠します。日本で作られた高品質で安心安全なものであること、また世界から注目される多彩なファッション・ビューティや新たなカルチャーを生み出し、多様なスタイルを常に発信し続ける「TOKYO」発のブランドであることを表現していきます。

※1 ブランド名称の変更ではありません。

『ADDICTION』は、新クリエイティブディレクターKANAKOとともに、今後もこれまでにないモノづくりに挑戦し続け、その人自身の個性を引き出すアイテムを提案していきます。

『KANAKO』プロフィール

ADDICTION CREATIVE DIRECTOR

KANAKO

2008年、渡米。Pat McGrathのインターンとして1年、その後Yadimの第1アシスタントとして4年間従事した後、独立。2017年度「Dazed 100」、2018年版「BoF 500」にも選ばれた、世界がいま最も注目するメイクアップアーティスト。

Mario Sorrenti、Juergen Teller、Richard Burbidge、Ethan James Green、Daniel Jackson、Inez and Vinoodhなどの著名なフォトグラファーからも絶大な支持を受け、Saint Laurent、Alberta Ferretti、Proenza Schouler、Helmut Lang、Area、Eckhaus Latta、A.P.C.、Louis Vuitton他、様々なブランドの広告キャンペーンやバックステージを担当。また、世界各国のメディアで作品やインタビューが数多く取り上げられている。

SPRING 2020 COLLECTIONより、『ADDICTION』のクリエイティブディレクターに就任。

『ADDICTION』について

*ADDICTION：熱中すること、やめられないこと、虜になること、依存症、中毒

『ADDICTION』は、“国籍、年齢を問わず自分らしいスタイルを手に入れる”ことを狙いとし、世界的メイクアップアーティストがクリエイティブディレクターをつとめ、そのグローバルな経験や感性と、当社の開発力・技術力によるメイクアップブランドとして2009年7月15日にデビューしました。10年を迎えた現在では、全国の百貨店と化粧品専門店をはじめとする国内約100店舗、3つの国と地域^{※2}で6店舗(免税店を含む)を展開しています。

※2 台湾・香港・韓国

アディクション公式サイト：<https://www.addiction-beauty.com/>

公式オンラインショップ：<https://onlineshop.addiction-beauty.com/>

※お客さまからのお問い合わせは、お客様相談室  0120-586-683 でお受けしています。